



わらしべの里通信

社会福祉法人
わらしべの里

第13号(通巻27号)
発行日
2008年3月24日
発行所
わらしべの家
パソ工房

おとしべ

今、わらしべの家の

第一作業所の玄関カウ
ンターの上に「胡蝶
蘭」の鉢が飾られてい
る。大輪の大きなピン
クの花びらが満開であ
る。

まさに絢爛豪華―施設
の中が輝いて見える。

お蔭様で三一名の利
用者―仲間たちは、毎
日元気に通所してきて
いる。時には小さなト
ラブルも無いわけでは
ない。しかし「同じ仲
間なのだから……」とい
う、支援員の口添えに
すぐに納得して、収さ
まっていく。こんなこ
との繰り返しと積み
上げで、三十年以上も
たってしまった。

これからは、障害者
自立支援法による施設
に、切り替えていくこ
とが課題として残され
ている。

金坂直仁

わらしべの家で、節分豆まき

節分に豆まきをすると、その一年は病氣
しないという言い伝えがある。わらしべの
家でも二月一日(金)の二時四十五分から全
員で食堂に集まって豆まきを行った。わら
しべの家でやるのは二年ぶりだ。利用者の自
治会主催により行われるのは、初めて。
まく前に豆を入れる箱の折り方を職員に
教えてもらい、仲間同士でも助けあいなが
ら箱を楽しく折っていた。その後、鬼退治に
使われる豆がそれぞれの箱にわけられた。
その時、二人の鬼がわらしべの家の玄関か
ら突然やって来た。全員で「鬼は外、福は内」
と皆で豆を鬼に向けて投げて、鬼は、「いた
い、いたい」と言いながら逃げていった。

逃げていく鬼に仲間
は、「皆と一緒に豆を投げら
れてよかった」、「初めて
の参加ですごく楽しかつ
た」、「世の中のいろいろな
事件が起きないように、
平和な社会になるように、
願いをこめて鬼に投げた」
と語った。

その後、各テーブルに戻り豆を今年一年健康で
いられるようにと皆で食べた。この一年も仲間が
幸せに過ごせますように……。(PORR)



わらしべの家で、豆まき。鬼は、
痛がりながら逃げていく。

「ひな祭り会」、開催される

三月三日午後二時半からわらしべの家で、利用
者自治会主催による「ひな祭り会」が開催された。
この日で「平成十九年度わらしべの家仲間の会年
間計画」として、成立した行事はすべて終了した。
休憩時間前に仲間たちは食堂に集まり、一人一
人に雛あられやジュースが配られ、皆で楽しい
「おしゃべり」をしながら時間まで、ひな祭りを
イメージした塗り絵を楽しんだ。プログラムで
は、挨拶のあと、カラオケを利用し、「うれしい
ひなまつり」をみんなで合唱する予定だったが、
曲目リストに見当たらないというハプニングが
起きた。すぐに全員のアカペラで「あかりをつけ
ましよ ぼんぼりに お花をあげましよ 桃の花」と
歌い、会を盛り上げた。会がすすむと、色鉛筆と塗り絵
が配られた。参加者たちが塗り絵を楽しんだのは、数年
ぶりであった。真剣な表情と懐かしそうな表情を交互
に浮かべながら、黄色や桃色などの色を閉会するまで
思い思いに紙に塗り、終わらなかつた絵は仕事の合間
で塗り上げるという楽しい宿
題となった。終了後、参加者た
ちは、「『うれしいひなまつり』
とか、みんなで歌えたり、塗り
絵を楽しめたので、来年も楽
しみ」と、話していた。また、
司会を努めた仲間も充実した
表情を浮かべていた。(混む)



ひなまつり会開催。歌に、塗り絵
に大盛り上がりだった。



「ほのぼのアンケート」2008年最新版の結果発表!

印象的だったのは、「仕事」? 「レクリエーション」?

二〇〇七年五月に実施した「ほのぼのアンケート」では、わらしべの家で働く仲間が、カレライスが好きで、演歌好きだということが判明した。

前回の調査から約九ヶ月。ポリと混むからなるパソ工房取材班が、仲間の皆さんを対象に「平成十九年度のわらしべの生活で感じていること」をテーマにしたほのぼのアンケートを平成二十年二月一日から平成二十年二月五日の五日間で実施。

配布数三十枚、有効回答数二十八枚を得たので集計を公式サイトと連動して紹介させていただきます。

調査内容は、

- ①平成十九年度のわらしべの里で心に残ったことは?
- ②あなたは、今、おもに何の作業をしていて、その作業にどんなことを感じていますか?
- ③今の作業をして自分のために活かされたことはありますか?の三点。

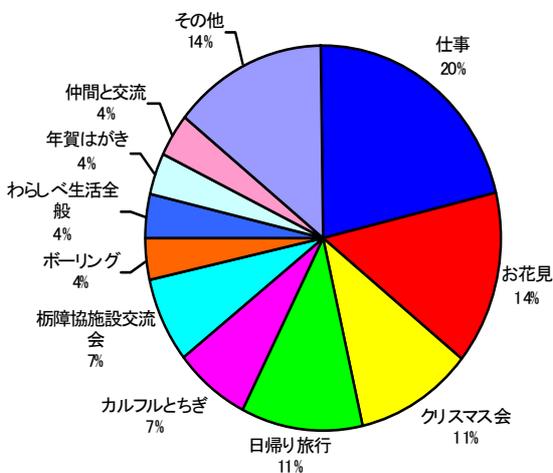
今年度のわらしべの家は、仕事と交流で絆、深まる!

平成十九年度のわらしべの里で心に残ったことは?と、訊ねたところ、ランキングの第一位に仕事(二十%)、第二位にお花見(十四%)、第三位にクリスマス会、日帰り旅行(十一%)と、続いている。

お花見や日帰り旅行は、普段の日常生活から離れてその季節で見られないもの、わらしべの家の仲間たち三十人で行ったからこそ楽しく過ごすことができたんだと感じた。また、クリスマス会では、いつもよりちよっぴり豪華な給食やおやつ、職員さんはもちろん施設長さんや理事長さんまでゲームに参加して下さりとても盛り上がる事ができた。

	心に残った事	理由
第1位	仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が楽しい(請負作業) ・プラスチック、はい油の作業が楽しかった(請負作業) ・出店、福祉プラザの納品いろんな作業所の商品がみられるから(さをり織り) ・さをり織りを織ることが楽しききれいな糸で布になることが楽しい(さをり織り)
第2位	お花見	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と氷鬼をしたこと ・お花見に行ったこと(楽しかったから)
第3位	クリスマス会	<ul style="list-style-type: none"> ・料理が超うまかった ・ビンゴゲーム等のゲームが楽しい雰囲気の中でやれて良かった ・カラオケ(班ずつ)を他の班の人達とおおいに盛り上がる事ができてとてもうれしかった
	日帰り旅行	<ul style="list-style-type: none"> ・水族館が楽しかった(泳いでいる魚を見たり触ったりしたこと) ・旅行が楽しかった(動物、生物をみる機会がないので楽しかった)

心に残ったことのランキング



※パーセントについては、アンケート有効回答数二十八枚で計算している。

仕事を楽しんでいるのは、「自分のためになっているから」

仕事内容	作業で感じている事	自分のために活かされたこと
請負作業	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックを一生懸命にやりたい ・プラスチックのはめこみが大変です 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事をきちんとすることにかかされている ・間違えないでできた、いつも最後までがんばれたこと
さをり織り	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが喜ぶような作品を作ることが楽しい ・さをり織り、いろいろな織りかたがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の楽しさ ・色の組み合わせができるようになった
パソコン工房	<ul style="list-style-type: none"> ・わらしべの家パソコン工房 ホームページ作成・更新 システム管理担当でやりがいを感じている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを更新する中でいろいろな人と話し、よりよい人間関係が築けたこと。システム管理の面ではトラブルを切り分け、原因を究明する力、対策を施す力がついた

部品組み立てに取り組みむ請負作業の仲間たち。



さをり織りで織った布は、世界にひとつだけしかありません。



名刺作成・ホームページ作成のことなら、パソコン工房にお任せください。



最も心に残ったこととして挙げられた仕事。その理由として、「仕事を楽しんでいる」、「プラスチック、はい油の作業が楽しかった」、「さをり織りを織ることが楽しみ。きれいな糸で布になることが楽しい」、「出店、福祉プラザの納品(いろいろな作業所の商品がみられるから)」といった意見が続き、「その作業にどんなことを感じていますか?」という問いに、「皆が喜ぶような作品を作ることが楽しい」、「プラスチックを一生懸命にやりたい」、「プラスチックのはめこみが大変です」など意見が聞こえた。

仕事をしているという事は、何か自分のためにも生かされているはず……。

『自分のために活かされたことはありますか?』という質問に対しては、

「間違えないでできた、いつも最後までがんばれたこと」、「仕事をきちんとすることにいかされている」、「ホームページを更新する中でいろいろな人と話し、よりよい人間関係が築けたこと。システム管理の面ではトラブルを切り分け、原因を究明する力、対策を施す力がついた」、「色の組み合わせができるようになった」など意見が聞こえた。

今回の調査から見えるものについて、「わらしべには、毎日の作業が楽しい仲間、毎年の恒例行事が楽しい仲間。いろいろな仲間がいるけれど、一番の楽しみは三十人全員の仲間の顔がそろって、給食を食べることなのでは」と、ある支援員は話していた。

(パソコン工房取材班)

平成20年度わらしべの家・仲間の会年間計画が成立する

「仲間の会」は利用者が中心になり、毎月第三金曜日午後の「仲間の会議」で翌月のレクリエーションの時間は何をやるかを話しあったり、よりよいわらしべ生活を送るために話し合う会だ。



会では、新年度に当たって、仲間の皆が意見を活発に発表でき楽しく過ごせるように、三月二十一日の仲間の会会議で、平成二十年度的わらしべの家仲間の会年間計画を賛成多数で成立させた。

成立した仲間の会年間行事については、実施二ヶ月前の会議から話し合い、自分たちでできる事とわらしべの家側に頼む範囲を見極めながら行っていく。

年間計画成立後、利用者自治会会長の混むさんは、「十九年度は、会長、副会長で話し合った案を成立させていただきました。二十年度は、皆さんからの意見をアンケート方式で取りまとめたところが、大きな違いですね。意見を出してくれた皆さん、ありがとうございます。」

実施月	年間計画内容
4月	花見 ※
5月	レクリエーション
6月	レクリエーション
7月	七夕
8月	レクリエーション
9月	わらしべの家・仲間の会役員選挙
10月	日帰り旅行 ※
11月	カルフルとちぎ ※
12月	クリスマス会 ※
1月	新年の抱負を発表する会 (みかんを食べながら)
2月	節分豆まき
3月	ひな祭り

「混むさんはさらに、「会長に就任して、三十人の仲間の話を聞いて、よりよいわらしべでの生活を送るために方向性を決めていく難しさを楽しさを感じています。自分の中では、就任前より何事にも感謝することが増えましたね」と話す。

今年九月三十日に、現役員の任期が切れるのに伴い、自治会役員選挙が行われる。「今度の選挙に立候補は？」という質問に混むさんは少し考えてから、「いろいろ迷いましたが皆さんに支持していただけたら、あと二年会長職を続投させていただきます」と考えています。よろしくお願ひいたします」と、二期目に向けて立候補を表明した。(PORR)

※の印はわらしべの里の行事。その月に行事がある時は、「仲間の会」のレクリエーションは行いません。

編集後記

寒い寒い口癖になっていた今日この頃。いつになったら暖かくなるだろうと思っていたら三月に入り少しずつ春の気配が感じられるようになってきました。あたたかな風、春らしい空。そして春といえば、卒業・入学・入社式・・・別れと新しい出会い、そして新しい生活が始まる季節。そして、わらしべの里も平成十九年度から平成二十年へと切り替えの季節。どんな風が、わらしべに吹くのかなあ。見守り、伝えて行きたいと思えます。

今年度は、わらしべの里通信が年四回の発行をすることができ、読者の皆様に読んでいただけたことを大変うれしく思い、取材に協力してくれたわらしべの家の皆に感謝しています。来年度もこのペースで続けたいと思えます。(範)



社会福祉法人わらしべの里

『わらしべの里通信』第13号(通巻27号)
 発行元 社会福祉法人わらしべの里
 発行責任者 金坂 直仁
 編集者 わらしべの家パソ工房
 〒328-0011 栃木市大宮町2708-3
 電話 0282-27-1627
 Fax 0282-27-1675
 E-mail warasi-nk@cc9.ne.jp (事務所)
<http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/>